

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第261号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年10月21日 12時00分ごろ	
発生場所	神奈川県横須賀市横須賀港西防波堤灯台から真方位007° 1,200m付近 (概位 北緯35° 17.96′ 東経139° 41.22′)	
事故等調査の経過	平成21年10月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第八十八<sup>ほうせい</sup>鳳生丸、499トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131630、鳳生汽船株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 左舷後部船底外板凹損及びき裂、擦過傷、主機潤滑油サンプタンク浸水、主機潤滑油系統の汚損</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、船首約2.4m、船尾約4.0mの喫水で、京浜港横浜区の仮泊地を発し、横須賀港新港ふ頭に向かった。</p> <p>船長は、通り慣れた海域であったので船位を確認せず、パイロットボートの後ろについて南進中、平成21年10月21日12時00分ごろ、船底付近に強い衝撃を感じた。</p> <p>船長は、異常に気付いて投錨し、海面に油が浮くのを認めて海上保安庁に通報し、機関室の確認を行わせた。</p> <p>その結果、本船は、主機の潤滑油サンプタンクに海水が混入しているのが認められ、船底外板に仮処置を施したのち、えい航されて入渠し、修理された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇、風向 南東、風力 2</p> <p>海象：潮汐 低潮期</p>	
その他の事項	<p>本船が乗り揚げたと思われる場所は、横須賀港南第2号灯浮標の西側に拡延するサイカチ根と呼ばれる浅瀬（水深3.6m、底質岩）であった。</p> <p>本事故当時、船長は、操舵室のGPSプロッター及びレーダーを作動させていたが、いずれも画面を見て確認しておらず、横須賀港南第2号灯浮標の東側を航行していると思い、浅所に近づいていることに気付かなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、横須賀港第3区を南進中、横須賀港第3区の東側に拡延する浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、横須賀港南第2号灯浮標の東側を航行</p>

		していると思込み、GPSプロッターや灯浮標の方位を見るなどして船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に向けて航行していることに気付かなかったものと考えられる。
原因		本事故は、本船が、横須賀港第3区を南進中、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に向けて航行していることに気付かず、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。